

「徳島新未来創生総合計画」（令和8年度版）の改善見直し案にかかるパブリックコメント回答

令和8年2月6日（金）から2月20日（金）までの間、オープンとくしま・パブリックコメントを実施したところ、7名の方から27件のご意見をいただきました。ご意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
1	<p>○徳島新未来創生総合計画は「耳障りの良い美辞麗句」を並べた「絵に描いた餅」・「大風呂敷」・「言葉遊び」にすぎない。 ※具体的には「目標管理」ができていない。 ※地に堕ちた効果的・効率的・実効性が〇の徳島新未来創生総合計画</p> <p>○徳島新未来創生総合計画においては、徳島県民一人一人の声を無視している。</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題に直面する中、徳島の力を最大化し持続可能な「未来に引き継げる徳島」を実現するために策定しました。 KPIによる進捗管理と毎年度のPDCAサイクルを導入し、実効性ある政策を実行しております。 「県民主役・県民目線・現場主義」を徹底し、県民の皆様と共に徳島新時代を創り上げて参ります。</p>
2	<p>○徳島新未来創生総合計画は徳島県民を舐めた見せかけだけの中身の無い総合計画 徳島県民を冒涇した見せかけだけの中身の無い総合計画</p> <p>※ 徳島県民一人一人の幸福の向上のための理念がない ※ 徳島県民一人一人が主役となる理念がない ※ 徳島県民一人一人の目線となる理念がない</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題に直面する中、徳島の力を最大化し持続可能な「未来に引き継げる徳島」を実現するために策定しました。 KPIによる進捗管理と毎年度のPDCAサイクルを導入し、実効性ある政策を実行しております。 「県民主役・県民目線・現場主義」を徹底し、県民の皆様と共に徳島新時代を創り上げて参ります。</p>
3	<p>○徳島新未来創生総合計画は、民法の「無効」の条文に照らし合わせて当初から効果や効力はない。</p> <p>※徳島新未来創生総合計画は最初に遡って白紙撤回しなければならない。 ※徳島新未来創生総合計画は徳島県民一人一人と取り交わした契約である。</p>	<p>本計画は、県民の皆様と共に政策を推進していくための「県政運営指針」として策定しました。 毎年度のPDCAサイクルにより社会情勢の変化等に即応した改善見直しを行って参ります。</p>

4	<p>○現在の徳島新未来創生総合計画では、明日に!! 未来に!! 徳島県民一人一人が夢と希望に実感が持てる徳島づくりになっていない。</p> <p>※現在の徳島新未来創生総合計画では、前進はない前へ動かない</p> <p>※現在の徳島新未来創生総合計画では、徳島に新しい風は吹かない新しい徳島新時代にはならない。徳島新時代の扉は開いていない。</p> <p>※現在の徳島新未来創生総合計画では、徳島県民一人一人と共に喜びあえるものでない。</p> <p>※現在の徳島新未来創生総合計画では、「未来に引き継げる徳島の実現」はできない。</p> <p>※現在の徳島新未来創生総合計画は30点未満の赤点⇒落第不合格 進級はできない合格基準点は80点以上</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題を直視し、「県民主役・県民目線・現場主義」のもと、「未来に引き継げる徳島」の実現を目指すものです。</p> <p>客観的なファクト（事実）とエビデンスに基づいた政策立案を行い、KPIによる進捗管理を導入しております。</p> <p>今後とも、毎年度のPDCAサイクルによって改善を重ね、県民の皆様がしっかりと成果を実感できるよう、「未来に引き継げる徳島」の推進に取り組んで参ります。</p>
5	<p>○徳島新未来創生総合計画において、徳島県民一人一人が徳島県であることを明記しなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画において、徳島県を強く、そして豊かに、安全・安全で成長力ある徳島県にすることを明記しなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画において、「徳島県は一つ屋根の下の徳島家」であることを明記しなければならない。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
6	<p>○徳島新未来創生総合計画は、基本を押さえていない。基本中の基本が認識できていない。</p> <p>※上滑り砂上の楼閣</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題を直視し、「県民主役・県民目線・現場主義」のもと、「未来に引き継げる徳島」の実現を目指すものです。</p> <p>客観的なファクト（事実）とエビデンスに基づいた政策立案を行い、KPIによる進捗管理を導入しております。</p> <p>今後とも、毎年度のPDCAサイクルによって改善を重ね、県民の皆様がしっかりと成果を実感できるよう、「未来に引き継げる徳島」の推進に取り組んで参ります。</p>
7	<p>○徳島新未来創生総合計画において「数字は嘘つかない」ことを把握できていない。</p> <p>※後藤田正純徳島県知事自身が徳島新未来創生総合計画のほとんどが実現ができていないと認めている。</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題を直視し、「県民主役・県民目線・現場主義」のもと、「未来に引き継げる徳島」の実現を目指すものです。</p> <p>客観的なファクト（事実）とエビデンスに基づいた政策立案を行い、KPIによる進捗管理を導入しております。</p> <p>今後とも、毎年度のPDCAサイクルによって改善を重ね、県民の皆様がしっかりと成果を実感できるよう、「未来に引き継げる徳島」の推進に取り組んで参ります。</p>

8	<p>○徳島新未来創生総合計画において「東京一極集中の打破」の文言を明記しなければならない。 ※具体的には、徳島大学を東京大学徳島校にする。 ※具体的には、鳴門教育大学を東京学芸大学徳島校にする。 ※具体的には、徳島文理大学を母体に慶應義塾大学徳島校の開学を行う。 ※具体的には、慶應義塾徳島幼稚舎の開校及び慶應義塾徳島中等教育学校の開校を行う。 ※具体的には、三菱商事本社の徳島県への本社丸ごと一括移転を行う。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画において「徳島県全域デジタル6G・ICT光の道の推進」の文言を明記しなければならない。 ※具体的には、ICTものづくりの光の道（新商品の研究開発又は新技術の研究開発） ※具体的には、ICT教育の光の道（学校教育及び生涯学習） ※具体的には、ICT保健医療の光の道</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
9	<p>○徳島新未来創生総合計画において「徳島県全体の地方創生及び徳島県全体の地方再生」の文言を明記しなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画において「いのち輝く 世界の桃源郷とくしま」・「いのち輝く 世界の理想郷 とくしま」を徳島県づくりの基本目標にしなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画において「世界の中のとくしま」の文言を明記しなければならない。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

10

【資料4】令和6年度KPI進捗一覧について
No.19、31、33、36、46、65、66、71、72、73、74、76、77、82の状況については、「順調」としてはいますが、基準値、実績値及び目標値から客観的、正確で厳密な検証・評価をすれば、「低調」になりませんか。
また、網掛けの色は、「現状維持」は、時間軸を考慮すれば赤色になり、「低調」を黄色で網掛けして整理してはどうでしょうか。
No.92については、目標値設定がおかしくありませんか。
以上のことを踏まえた上で、次のステップ「見直し」に進んでいってください。

<NO.19 Jクレジットの販売量>

2026年度からの本格販売開始に向けて、Jクレジットの発行数や販売に向けての手続きを進めており、現在、公益社団法人とくしま森林バンクの2,940 tが発行認証済みであることに加え、県有林では今後8,000 tの発行を予定しており、令和8年度からはJクレジットの販売強化に向け取り組みの強化を図る計画としておりますことから、「順調」としてしております。

<NO.31 相談支援従事者養成者数>

2024年度～2028年度で延べ1,000人養成することを目標としており、2024年度実績は227人と堅調に推移していることから、「順調」としてしております。

<NO.33 重層的セーフティネットによる就労支援を通じた就労・増収達成者数>

2024年度～2028年度で延べ1,200人を目標としており、2024年度実績は223人と基準となる2022年度実績を上回ったことから「順調」としてしております。

<NO.36 津波困難者数>

津波避難困難者数については、現在、小松島市と海陽町の2市町で1,115人を残すところとなっております。

小松島市においては、現在、新たな津波避難タワーと避難場所の整備に着手しており、これらの完成時に解消見込みとなっております。

また、海陽町についても、2024年度より新たな津波避難タワーの整備に向けて準備が進められていることから、「順調」としてしております。

<NO.46 凶悪犯罪検挙率>

2024年度の実績値が基準値よりも上回っており、前年度の実績値よりも上昇しているため「順調」としてしております。

<NO.65 県産農林水産物・食品輸出額>

2024年度の農林水産物等の輸出実績は、前年度より20.3%増加し、過去最高の「49億9千万円」となったことから、「順調」としてしております。

<NO.66 阿波尾鶏出荷羽数>

2024年度の出荷羽数は基準年と比較して8万羽増加していることから、「順調」としてしております。

<NO.71 県の支援による創業件数（累計(2024-)）>

2022年度の実績を踏まえ、毎年40件の認定を目標値として設定しています。2024年度は51件と目標値を超えて認定ができており、本県の起業家数が増え、地域経済の発展や雇用創出に一定の寄与があったと考えられることから、「順調」としてしております。

10
(続き)

【資料4】令和6年度KPI進捗一覧について
No.19、31、33、36、46、65、66、71、72、73、74、76、77、82の状況については、「順調」としてはいますが、基準値、実績値及び目標値から客観的、正確で厳密な検証・評価をすれば、「低調」になりませんか。
また、網掛けの色は、「現状維持」は、時間軸を考慮すれば赤色になり、「低調」を黄色で網掛けして整理してはどうでしょうか。
No.92については、目標値設定がおかしくありませんか。
以上のことを踏まえた上で、次のステップ「見直し」に進んでいってください。

<NO.72 未来技術活用製品等研究開発支援件数>

企業と工業技術センターによる共同研究数、補助金を活用したデジタルツールの導入支援件数等は目標通りの実績で推移しているところであり、引き続き、新しい技術と企業ニーズを引き合わせるなど、新技術を活用した製品開発にむけた研究支援に取り組んでいくことから「順調」としております。

<NO.73 奨励指定による立地企業数（累計(2024-)）>

継続的に毎年9件の増加を目指し目標値を設定しています。2024年度は単年度実績では7件ですが、2023年度は13件と目標値を超えており、前向きな企業立地の増加傾向を踏まえ、「順調」としております。

<NO.74 M&Aによる事業承継の成約件数>

2024年度～2028年度までの累計200件の目標を設定しているところであり、2024年度は単年度での目標値である32件を達成していることから、「順調」としております。

<NO.76 15歳以上の就業者>

就業者数は堅調に増加しており、引き続き、若年者層を中心に就職面接会等を実施し、就業機会の提供に努めていくことから、「順調」としております。

<NO.77 テクノスクール施設内訓練生の就職率>

就職率の実績値は基準値と比べて横ばいとなっていますが、全訓練生のうち、訓練終了直後の就職を希望している方についてはほぼ就職できている状況であることから、「順調」としております。

<NO.82 地域協働型サテライトオフィス等の誘致数（累計）>

これまでの誘致の成果を踏まえ、地元企業や自治体と協働し、地域活性化に取り組むSO等誘致を進めるもので、2024年度は単年度平均目標である5件を達成したことから、「順調」としております。

<NO.92 財政調整的基金残高（満期一括償還分を除く）>

近年増加している公共施設の老朽化対策や防災・減災対策に加え、県勢発展に繋がる未来への投資などに備えるため、県の貯金にあたる「財政調整的基金残高」について、他県と同等レベルの「標準財政規模の1割程度」の確保を目指し、目標値を設定しております。

11	<p>○徳島新未来創生総合計画は、徳島県民一人一人への生活支援策を確実に実行できるものでなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画は、大胆な経済成長投資並びに経済発展投資による強い経済政策の実現でなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画は、大胆な危機管理投資による強い経済政策の実現でなければならない。⇒徳島県防災県債の発行を行う。</p> <p>※具体的には、吉野川第十堰可動堰化事業の事業着手 ※具体的には、那賀川水系細川内ダム建設事業の事業着手</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
12	<p>○徳島新未来創生総合計画は、点検評価サイクル（PDCAサイクル）による政策評価の手法を活用した前へ動く見直しを行うとともに、更なる急激な社会環境変化や新たな課題に対しても、常に進化・進展・進歩する「徳島新未来創生総合計画」として多種多様な徳島県一人一人のニーズに即応するのでなければならない。</p> <p>※ Plan:企画立案 ※ Do:実行 ※ Check:評価と検証 ※ Action:改革と改善</p> <p>⇒トヨタ自動車グループのカイゼン方式（3Mの削減・5S活動の促進・下からのボトムアップ式で現場主義による現場主体）</p>	<p>本計画は社会情勢の激しい変化や多様な県民ニーズに即応するため、毎年度「PDCAサイクル」を活用した機動的かつ柔軟な改善見直しを行うことで、より実効性のある計画へ進展させる仕組みとしております。</p>
13	<p>○徳島新未来創生総合計画は高所大所の観点からの構想力・決断力・実行力・行動力・徳島力・徳島愛が欠如している。</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題に直面する中、徳島の力を最大化し持続可能な「未来に引き継げる徳島」を実現するために策定しました。</p> <p>KPIによる進捗管理と毎年度のPDCAサイクルを導入し、実効性ある政策を実行しております。</p> <p>「県民主役・県民目線・現場主義」を徹底し、県民の皆様と共に徳島新時代を創り上げて参ります。</p>

14	<p>○徳島新未来創生総合計画には、確固たる政治的信念・政治的信条・政治的哲学・政治的論理・政治的倫理が欠如している。 ※具体的には、政治理論・哲学・法哲学・論理学・倫理学等が基本中の基本</p> <p>○徳島新未来創生総合計画は、高いヒューマンズムが求められる。 ⇒徳島新未来創生総合計画は徳島県民一人一人の心が決めるもの ※具体的には、人間愛（思いやり・優しさ・義理と人情・温もり）が必要である。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画において、愛国心並びに愛県心の文言を明記しなければならない。</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題に直面する中、徳島の力を最大化し持続可能な「未来に引き継げる徳島」を実現するために策定しました。 KPIによる進捗管理と毎年度のPDCAサイクルを導入し、実効性ある政策を実行しております。 「県民主役・県民目線・現場主義」を徹底し、県民の皆様と共に徳島新時代を創り上げて参ります。</p>
15	<p>○徳島新未来創生総合計画においては、徳島県民一人一人が「生まれて良かった 美しいふるさと徳島県」、「住んで暮らして良かった 美しいふるさと徳島県」、「人に語れる 美しいふるさと徳島県」、「人に誇れる 美しいふるさと徳島県」を実感できるものでなければならない。</p> <p>○徳島新未来創生総合計画は、「たゆまない改革と改善」、「徳島新時代のために明日に！未来に！夢と希望が持てる徳島づくりの挑戦」、「前へ！前へ！と進める」を続けていかなければならない。</p>	<p>本計画は、人口減少等の深刻な課題に直面する中、徳島の力を最大化し持続可能な「未来に引き継げる徳島」を実現するために策定しました。 KPIによる進捗管理と毎年度のPDCAサイクルを導入し、実効性ある政策を実行しております。 「県民主役・県民目線・現場主義」を徹底し、県民の皆様と共に徳島新時代を創り上げて参ります。</p>
16	<p>○徳島新未来創生総合計画に、長期的なビジョンが見えてこないことが致命的</p>	<p>本計画は、「未来に引き継げる徳島」という長期的な基本理念のもと、今後10年という地方の正念場を見据えています。 基本理念をただの理想で終わらせないために、直近5年間の「安心度UP」「魅力度UP」「透明度UP」の3つのミッションと具体的な成果目標（KPI）に落とし込み、スピード感を持って取り組んでおります。</p>
17	<p>○徳島新未来創生総合計画に、IR統合型リゾートの誘致の文言を明記する。</p> <p>※徳島県はシンガポールのように、国際会議場、国際見本市展示場、外資系の国際リゾートホテル、高級レストラン、劇場、映画館、ショッピングモールなどの施設を開業して、外貨を獲得して徳島県の外貨準備高を高めて徳島県の財政を豊かにする。</p>	<p>IR（統合型リゾート）につきましては、国や他都道府県の動向を注視し、情報収集を行って参ります。</p>
18	<p>○徳島新未来創生総合計画を前へ動かすのは、徳島県民一人一人の人間力・マンパワーであることが基本中の基本である。 ※徳島県を地方再生と地方創生のモデルケースに！</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

19	○徳島新未来創生総合計画は「ワンチーム徳島」の組織体制並びに「オール徳島」の組織体制でなければならない。	頂きましたご意見につきましては、今後の計画を推進する上での参考とさせていただきます。
20	○徳島新未来創生総合計画は、徳島新時代に向けて～地方創生戦国時代に勝ちに行く～ことが基本中の基本である。 ※具体的には、徳島県に世界の名門大学を誘致開学させること。 ※具体的には、徳島県に「経済技術開発構造改革特区」を創設して、外国の資本・外国人の高度産業人材・外国の高度最新技術・外国の最新情報などを徳島県に呼び込むこと。	頂きましたご意見につきましては、今後の計画を推進する上での参考とさせていただきます。
21	戦略4において「ジビエ加工施設での処理頭数」を上方修正されていますが、処理頭数の増加そのものが目的化している懸念があります。「人と自然の共生」という本来の目的（アウトカム）に照らせば、処理頭数という「手段」ではなく、個体数や生息密度、農林水産物などの被害状況に基づく指標を設定すべきです。目標値を2,500頭に引き上げていますが、徳島県における野生鳥獣の「理想的な生息密度・個体数」が定義されていません。現状が理想と比べてどの程度乖離しているのかが不明なままでは、処理頭数を増やすことが「適正管理」に直結するのか客観的に判断できません。 「KPI設定の考え方/得られる成果」には「捕獲鳥獣の活用拡大、農林水産物等の被害軽減に寄与」と記載されています。しかし、処理頭数が増えても、特定の地域で被害が拡大していれば施策の再検討が必要なはずで、処理頭数はあくまで活動量（アウトプット）であり、本来重視すべきは「被害額の減少」や「個体数や生息域の適正化」といった住民側の便益（アウトカム）であるはずで、	野生鳥獣による農作物等への被害防止に向けては、ご指摘のとおり、生息数の推計や被害状況などの科学的データに基づき捕獲目標を設定し、「捕獲」と「防護」の両輪で対策を展開することが重要です。そのため、県では、科学的知見に基づくシカやイノシシの適正管理計画を策定し、国や市町村、猟友会などの関係機関と堅密に連携した対策を進めており、被害の拡大防止と併せて、捕獲した野生鳥獣の個体の有効活用を拡大させることで、捕獲活動をさらに推進させる必要があると考えています。 シカやイノシシの捕獲が増えることで、ジビエ処理頭数も増えるという関係が見られるため、有害鳥獣の捕獲と捕獲した個体の有効活用の両方を示す指標として設定しました。これまでの取組により、昨年度はシカの捕獲頭数が過去最大になるなど、近年の捕獲頭数の増加傾向を踏まえて、ジビエ処理頭数の目標値を2,500頭に引き上げております。頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
22	以前、不登校の子供が年々増えているというニュースを見ました。学びの多様化学校の設置は良いことと思いますが、学校まで通えない遠方の子供にも対応できるような仕組みがあると良いと思います。	「徳島県学びの多様化学校の在り方等に関する基本方針」に基づき、距離を理由に通学できない生徒の選択肢となるよう、県内の教育支援センター等と連携し、「サテライト機能」を有した学びの場等の設置に向けた研究に取り組んで参ります。
23	防犯アプリやSNSもいいですが、スマホを使いこなせない高齢者が狙われるので、アプリだけでなくもっと物理的に守ってくれるような対策をお願いします。	特殊詐欺等については、手口ごとに被害者層や被害金の交付形態等が異なることから、被害実態を把握・分析し、必要な被害防止対策を的確に見定めて実施しているところ、高齢者への特殊詐欺に遭わないための物理的な対策としては、自宅の固定電話を常に留守番電話設定にすること等の周知や不審電話撃退装置の無償貸出し等を行っております。 引き続き効果的な広報啓発活動に努めるとともに、関係機関等と連携した被害防止対策を強力に進めていきます。

24	<p>行政手続きのキャッシュレスが進むことは便利になるので良いことだと思いますが、高齢者は電子機器の操作が苦手で、キャッシュレス決済はとてできません。当面の間はこれまで通り現金や窓口払いも選べるように残してください。デジタルが苦手な人でも困らないような配慮をお願いします。</p>	<p>「窓口におけるキャッシュレス決済」は、利用者の利便性向上に資するものと考えております。徳島県収入証紙に代わる収納方法はキャッシュレス決済だけに限定されるものではなく、県が発行する納付書を使用して、コンビニや金融機関窓口で現金によりお支払いいただくこともできます。</p> <p>今後とも利用者の利便性の向上に努めて参ります。</p>
25	<p>○徳島新未来創生総合計画においては、徳島県民一人一人が「ヒロイン」及び「ヒーロー」でなければならない。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
26	<p>○徳島新未来創生総合計画は、時流に流されず、正論を貫くことや真理を貫くことが基本中の基本である。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

○私は徳島大学に所属する教員として、2019年の着任以降、徳島県の高校入試の状況を継続的に注視してきました。本計画案は主として教育内容や教育環境の充実を目的とするものであり、高校入試制度そのものを直接の対象としたものではないことは承知しておりますが、本県の将来を担う人材育成という観点から、関連する事項として意見を述べさせていただきます。

徳島県における高校入試では、全体として倍率が低い状況が続いているように見受けられます。背景にはさまざまな要因があると考えられますが、中学校段階において、いわゆる「不合格を出さない」方向で進路調整が行われている可能性も否定できないのではないかと感じています。

その一因として、万が一不合格となった場合の受け皿となる私立高校が県内に少ないことが挙げられます。一方で、これまで高校入試競争が十分に生じてこなかったことが、結果として私立高校が参入・発展しにくい土壌を形成してきた側面もあるのではないのでしょうか。競争が乏しい状況では、生徒が学習面で力を大きく伸ばす機会、特に入試直前の「最後のひと踏ん張り」を経験しにくくなり、結果として県内生徒全体の学力水準の低下につながる可能性があります。また、そうした状況では、努力の結果として惜しくも不合格となった生徒が生じにくく、私立高校側から見ても進出や拡充への関心が高まりにくい構造になっているとも考えられます。

また、具体的な事例として、2026年度の高校入試において徳島市立高校の数理コースで定員割れが生じていると伺っています。

(市立高校の所管外の事項に言及する点についてはご容赦ください)。その背景には、高校授業料の無償化が進む中で、教育サービスや特色の面で評価の高い私立高校へ、経済的負担を比較的意識せずに進学できる環境が整いつつあることがあると考えられます。その結果、学力や学習意欲の高い生徒が県外の私立高校へ進学し、いわゆる「優秀な生徒の県外流出」が進行する懸念があります。

このような状況は、徳島大学の教員という立場から見ると、将来的に本県の高等教育機関へ進学する優秀な学生層の縮小につながりかねず、ひいては徳島大学、さらには徳島県全体の教育力・研究力や人材基盤の弱体化を招くおそれがあるのではないかと危惧しております。

本計画で掲げられている「魅力ある学校づくり」や「主体的な進路選択の支援」を実効あるものとするためにも、高校入試の在り方や、公立・私立を含めた県全体としての高等学校教育のエコシステムについて、中長期的な視点から議論と検討が進められることを期待いたします。

県では現在、入学者選抜制度の見直しを含めた今後の公立高校の在り方についての検討を進めており、頂いたご意見を参考とさせていただきます。

また、私立学校においても、授業料減免制度の拡充や運営費への助成を通じて、保護者の経済的負担の軽減と教育環境の向上に努めております。

今後も関係機関と連携し、公立・私立を問わず、子どもたちが県内で希望する進路を柔軟に選択できるよう、教育施策の推進に取り組んで参ります。